

# 平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	大川ダム30周年記念事業	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	会津若松支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	体験活動等

## 1. 事業目的

阿賀川の大川ダムが完成してから30年の節目を迎えるにあたり、地元会津地方や福島県内はもとより、全国の人々が大川ダムへの理解をより一層深め、親しみや関心を高めてもらえるよう、「ダムそのもの」に焦点を絞り、ダムを見てふれて感じてもらうための記念行事を実施する。

## 2. 事業実施体制

主 催：国土交通省阿賀川河川事務所  
 共 催：電源開発(株)、東北電力(株)、会津鉄道(株)  
 後 援：会津若松市、下郷町、芦ノ牧温泉協会、湯野上温泉協会、  
 (一社)北陸地域づくり協会

## 3. 事業実施概要

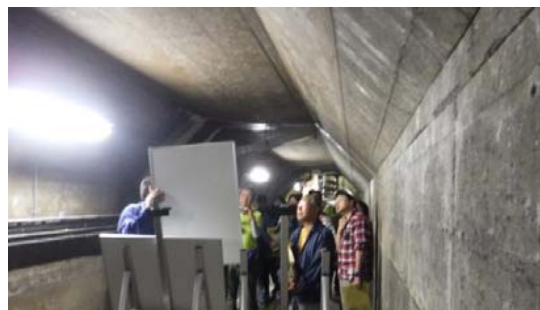
- ◆特別見学会  
 開催時期：平成30年の春、夏、秋の計3回実施  
 実施内容：これまで公開したことのないダム最下部の監査廊を含めた特別な見学会。大川ダムへ訪れたことのある人も初めて見る内容を盛り込んだ。  
 参加者：のべ417名
- ◆30周年記念スタンプラリー  
 開催時期：平成30年4月～11月  
 実施内容：専用の台紙に3カ所のスタンプをすべて押印して持参すれば、30周年記念の特別カードを贈呈。  
 スタンプ設置場所：会津鉄道大川ダム公園駅他、大川ダム資料館、下郷発電所資料館  
 カード配布：2,772枚

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

大川ダムは昭和63年に完成し、平成14年、25年、27年及び29年など洪水時に大きな効果を発揮し、会津盆地の被害軽減という治水上の役割とともに発電や水道、農業用水等の利水にも大きな役割を果たしている。  
 本事業には流域住民、全国のダムマニア等、広く大勢の方々の参加を得たことから、ダムの重要性について理解を深め、関心を高めることに一定の効果があった。さらに、今回構築できた地元との協力関係をはじめとして、今後とも地域と共生するダムとしての位置づけをより強固なものとする事ができた。



特別見学会(ダム下流)  
 ダムの役割の一つ「ダム式発電」を説明



特別見学会(ダム最下部の監査廊)  
 本ダムの築造方法「RCD工法」を説明



台紙に3種類のスタンプを集めると...



『30周年記念特別カード』を贈呈